




正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取付説明書」をよくお読みください。  
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。特に、安全上のご注意は  
必ず読んで正しくお使いください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

構成品の確認


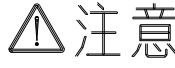
・梱包箱を開けて部品と数量をお確かめください。










|   |   |  |  |   |
|---|---|--|--|---|
| ・ベース金具A・・・1個<br>         | ・ベース金具B・・・1個<br>     | ・天井取付金具・・・1個<br>    | ・フロントパネル・・・1個<br>             | ・リアパネル・・・1個<br>          |
| ・ワッシャー・・・4個<br>        | ・ノブ・・・1個<br>       | ・クランプ・・・1個<br>    | ・取付説明書・・・6枚<br>(日本語・英文)<br> | ・六角ボルト(M6X12)・・・4本<br> |
| ・六角ボルト(M6X18)・・・6本<br> | ・ネジ(M4X8)・・・6本<br> | ・ナット(M4)・・・3本<br> | <b>質量</b><br>・天井吊りキット: 5.3kg<br>・LCDプロジェクタ: 12kg   |   |






設置は、必ず取付け工事業者に依頼して、まず安全性を十分考慮し、適切な取付け方法で  
堅牢な取付けを行なってください。  
尚、取付け不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

安全上のご注意

- ・ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・この項目は、いずれも安全上に関する内容ですので、必ず守ってください。
- ・「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。                |
|  <b>注意</b> | 取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。 |

|  |  |
|--|--|
|  <b>警告</b>  |  |
| 組み立て手順に従って正しく組み立ててください。<br> 正しく組み立てが行われていない場合、破損・落下などによりケガの原因となります。                                 | 液晶プロジェクターを取付けた後、交換蓋やネジをはずしたり改造を行わないでください。<br> 破損・落下によるケガの原因となります。                   |
| 設置後、方向や角度の変更または移動は必ず工事業者に依頼してください。<br> ネジ固定指定位置にネジ固定を行わずに組み立てると、液晶プロジェクターを取付けた後に破損・落下によるケガの原因となります。 | 組み立て後または設置後、本機にぶら下がらないでください。又、他のものを載せたり、ヒモなどを吊下けないでください。<br> 壊れたり、落ちたりしてケガの原因となります。 |
| 液晶プロジェクターの取付け<br> 液晶プロジェクターの取付けは、機器のプラグをコンセントから抜いて、行ってください。                                       | ネジ、取付け部品は、同梱されたもの以外は使用しないでください。<br> 壊れたり、落ちたりしてケガの原因となります。                        |
| 取付け場所は、人や物が通った時、当たらない所を確認して決めてください。<br> 液晶プロジェクターや天井吊りキットに人の頭、物などが当たるとケガの原因となることがあります。            | 電源コードは、資格のある専門業者に配線を依頼してください。<br> 感電・ケガの原因となることがあります。                             |

|  |   |
|--|---|
|  <b>注意</b>  |   |
| 液晶プロジェクターの取付け、取り外し、また移動作業は、2人以上で行なってください。<br> 1人で作業すると作業中に液晶プロジェクターを落としたりしてケガの原因となることがあります。 | 衝撃を与えないでください。<br> 液晶プロジェクターを取付けた状態でセットに衝撃を与えないでください。破損・落下などによりケガの原因となることがあります。 |
| LCDプロジェクタと周囲の壁・天井の距離は、20センチ以上離して設置してください。<br> 液晶プロジェクターが故障する原因となることがあります。                   | ケーブル類は、人や物が引っ掛からないよう壁などにしっかり固定してください。<br> 感電・ケガの原因となることがあります。                  |

## 設置例 ① 天井裏施工の場合(パイプ, フランジ取付タイプ)

※本設置例は参考であり、設置メーカーが設置場所に合わせ設計を行ってください。

1. 天吊りユニットを取付ける前に、下記の部品をご用意ください。  
天吊りポールユニット：下図(図1)を参照願います。

|       |             |
|-------|-------------|
| メーカー名 | (株)共栄商事     |
| 品名    | AT用フランジ・パイプ |

パイプの種類は、「2.パイプ選択表」、「3.パイプ選択計算方法」を参考にし、お選びください。

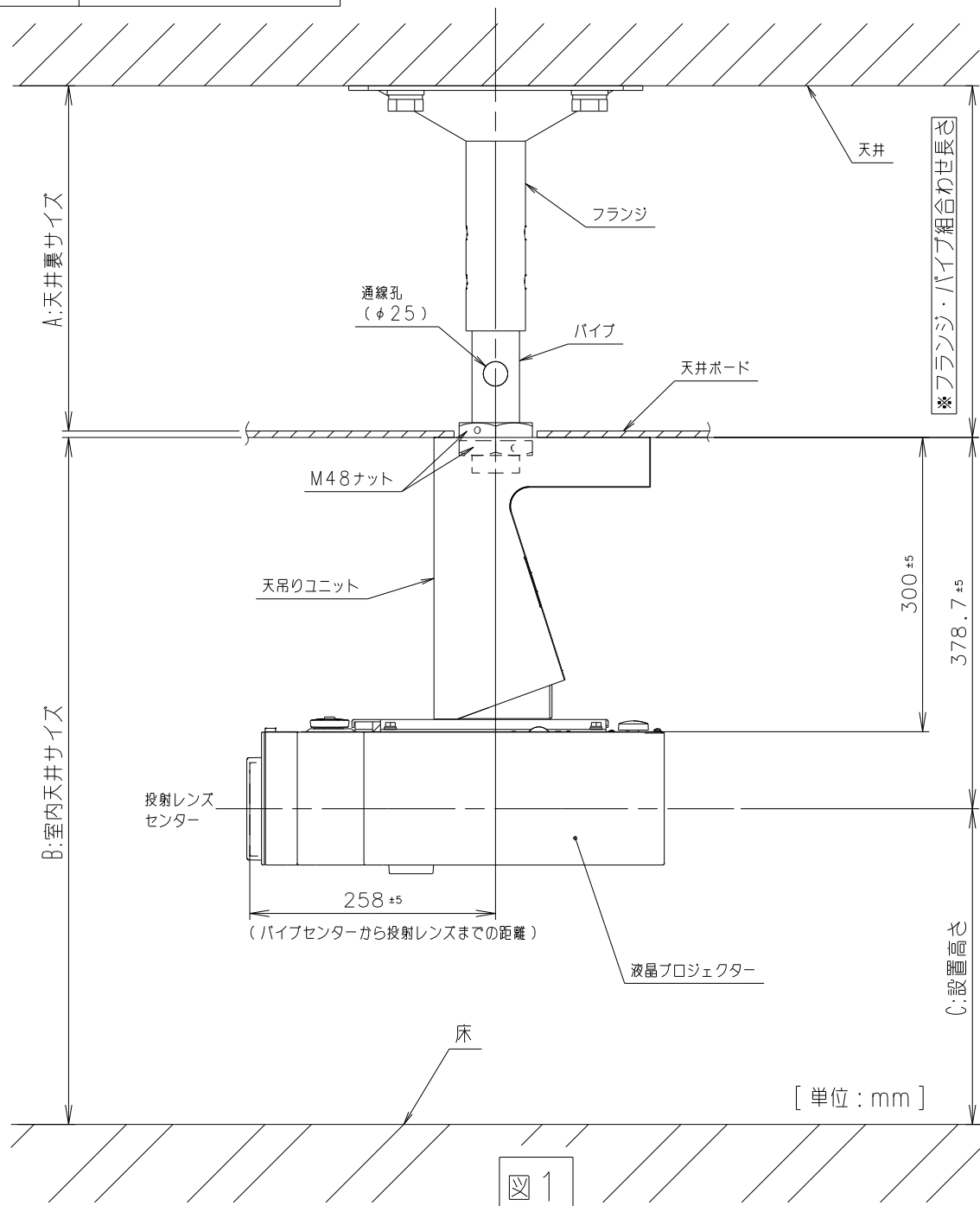


図1

## 2. パイプ選択表

[単位: mm]

| セット名 | パイプ長さ | 組み合わせ長さ(ピッチ)         |
|------|-------|----------------------|
| Sセット | 400   | 370~557.5(12.5ピッチ)   |
| Aセット | 600   | 570~757.5(12.5ピッチ)   |
| Bセット | 800   | 770~957.5(12.5ピッチ)   |
| Cセット | 1000  | 970~1157.5(12.5ピッチ)  |
| Dセット | 1200  | 1170~1357.5(12.5ピッチ) |
| Eセット | 1400  | 1370~1557.5(12.5ピッチ) |

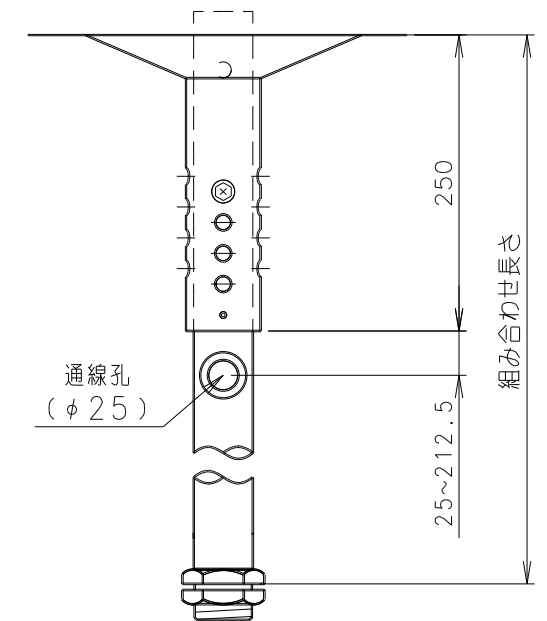


図2

## 3. パイプ選択計算方法

パイプの長さは、図1のフランジ・パイプ組み合わせ長さを下記計算式より算出し、上記のパイプ選択表と照合し、お選びください。

$$\text{フランジ・パイプ組み合わせ長さ} = (A + B) - (C + 300)$$

(注1) 投影レンズ位置をレンズシフトセンターにした場合です。

※詳しくは、お買い上げ窓口までお問い合わせください。

天井取付金具をパイプに(図3参照)取付けてください。M48ナットを締め付けた後、必ず割りピンを差し込み、開いてください。天井取付金具には前後の向きがありますので投影方向確認し、取付けてください。

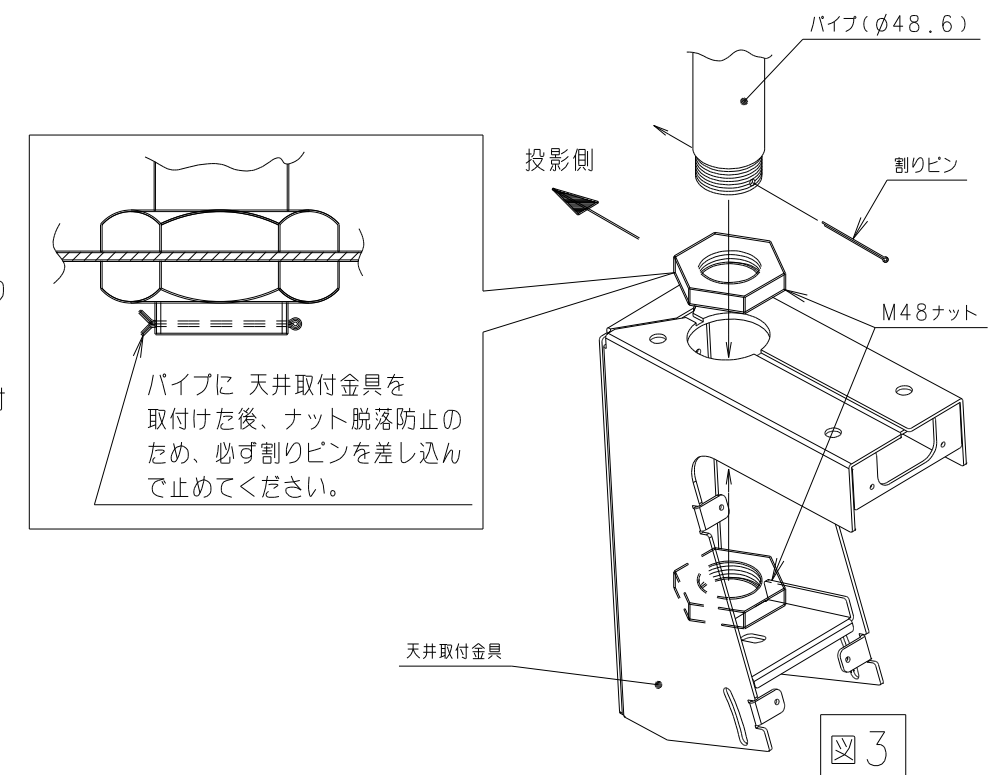
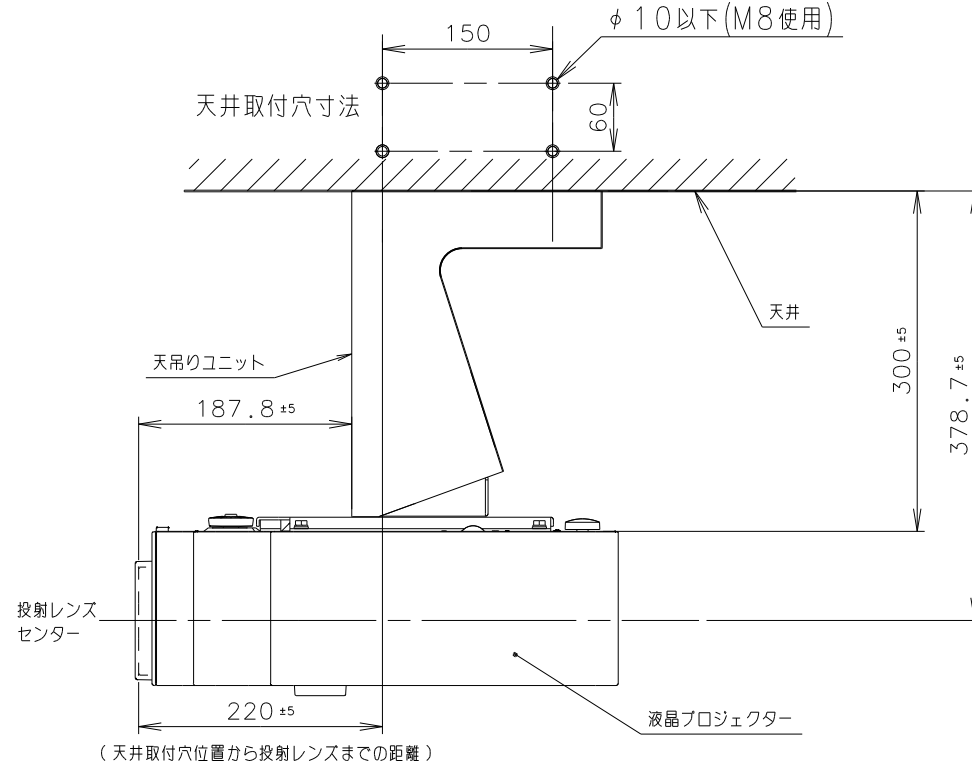


図3

設置例 ② 天井取り付けタイプ①

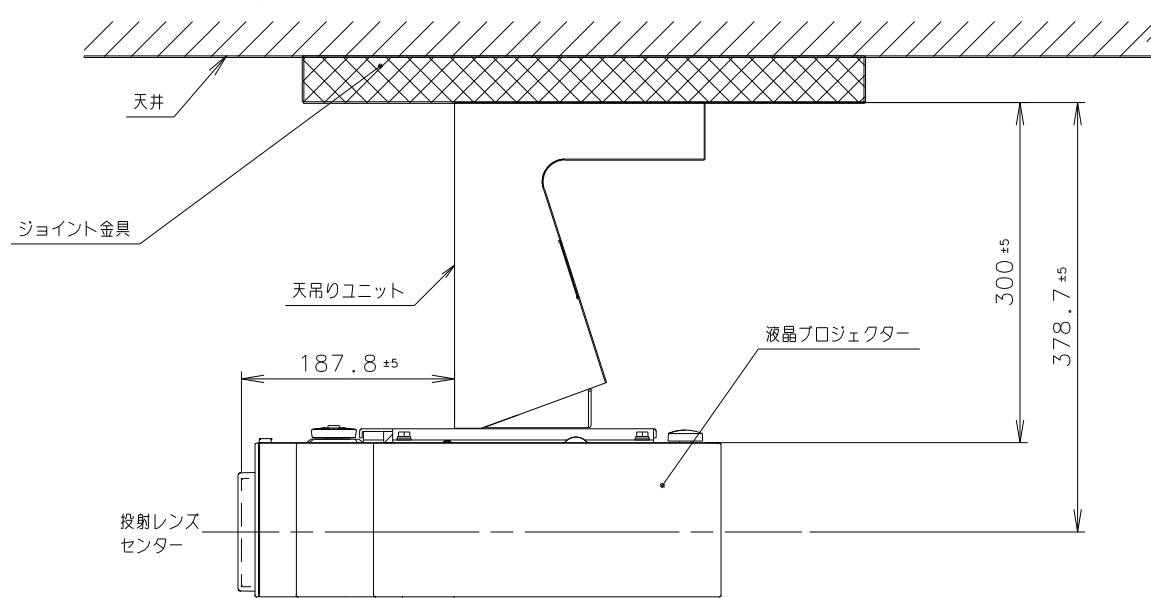
天井面（コンクリート）設置が可能であり、投影スクリーン及び天井取付穴寸法の配置が事前設計において可能な場合。\*スクリーンに対し傾かない様に設置角度設計を行ってください。  
\*本設置例は参考であり、設置メーカーが設置場所に合わせ設計を行ってください。



設置例 ③ 天井取り付けタイプ②

天井面（コンクリート）に設置用ボルトが既にあり、天井取付穴と合わない場合。  
\*本設置例は参考であり、設置メーカーが設置場所に合わせ設計を行ってください。

天吊りユニットの取り付け穴が天井取付穴と合わない場合は、設置メーカーでジョイント金具を設計し天井に取付けて、天吊りユニットを取付けてください。  
(ジョイント金具は、天吊りユニットに取り付くように設計してください。天吊りユニットとの取付寸法は、天井取付タイプ①の天井取付寸法を使用してください。)



天吊りユニットの組立て方

注意 LCDプロジェクタと周囲の壁の距離は、20センチ以上離して設置してください。

警告

取付けは必ず工事業者に依頼し、天井の構造、強度を事前に確認し、事故防止と安全確認のために適切な取付けを行なってください。

警告 使用ネジを間違えると設置出来ない・装置の破損又は装置の落下の恐れがありますので御注意して下さい。

1. 天井取付金具を天井にとりつけてください。(設置例参照)
2. 液晶プロジェクター本体の底面にベース金具Aを六角ボルト(M6x12)4本で取付けてください。(図4参照)
3. ベース金具Aの上にベース金具Bを六角ボルト(M6x18)4本で取り付けてください。ネジ締めの際は、ワッシャーを挟んで締め付けてください。(図4参照)

注意: ボルトの取付は、六角ボルト(M6x12)を本体とベース金具Aに、六角ボルト(M6x18)をベース金具B取付けに使用してください。

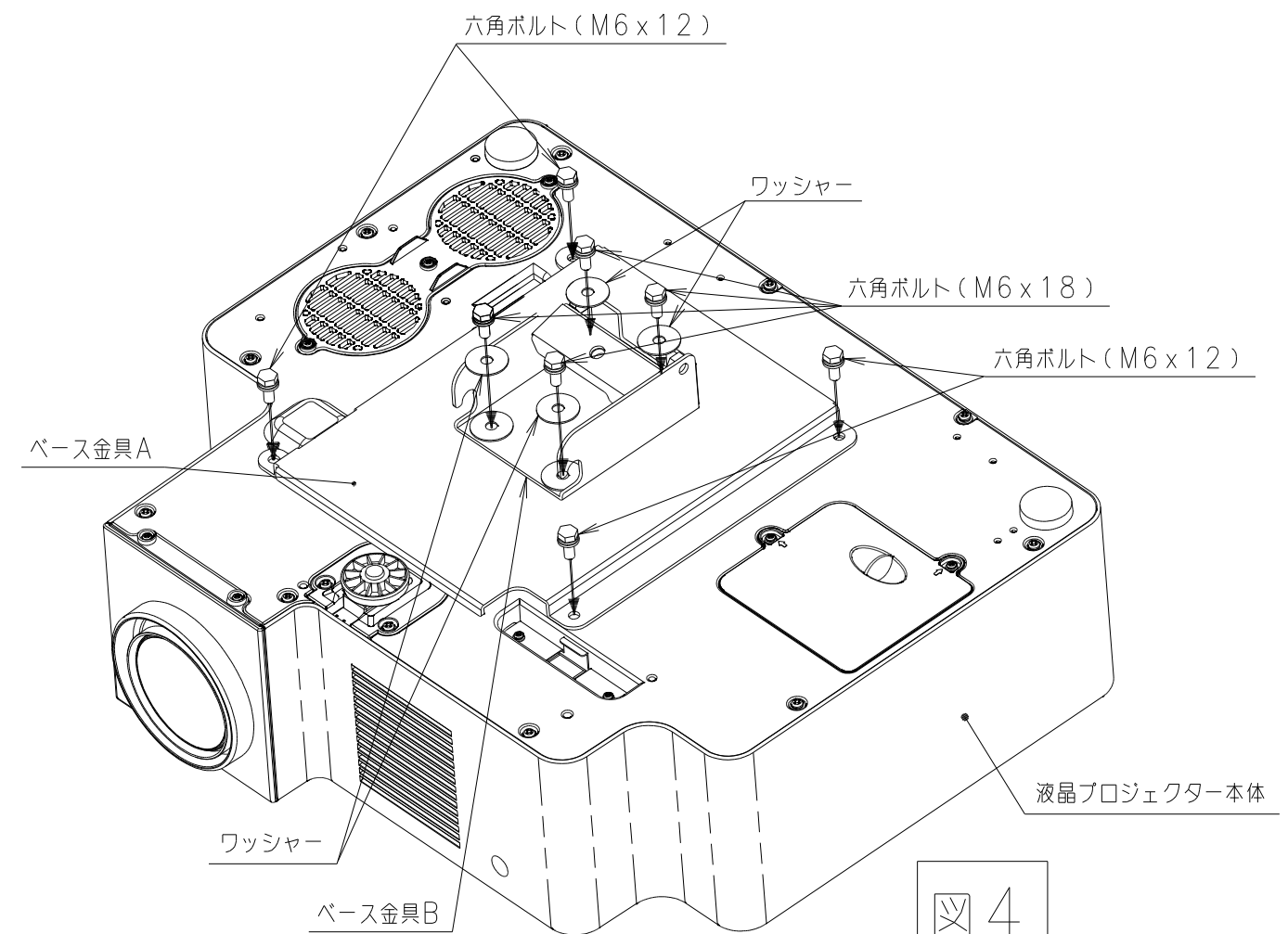
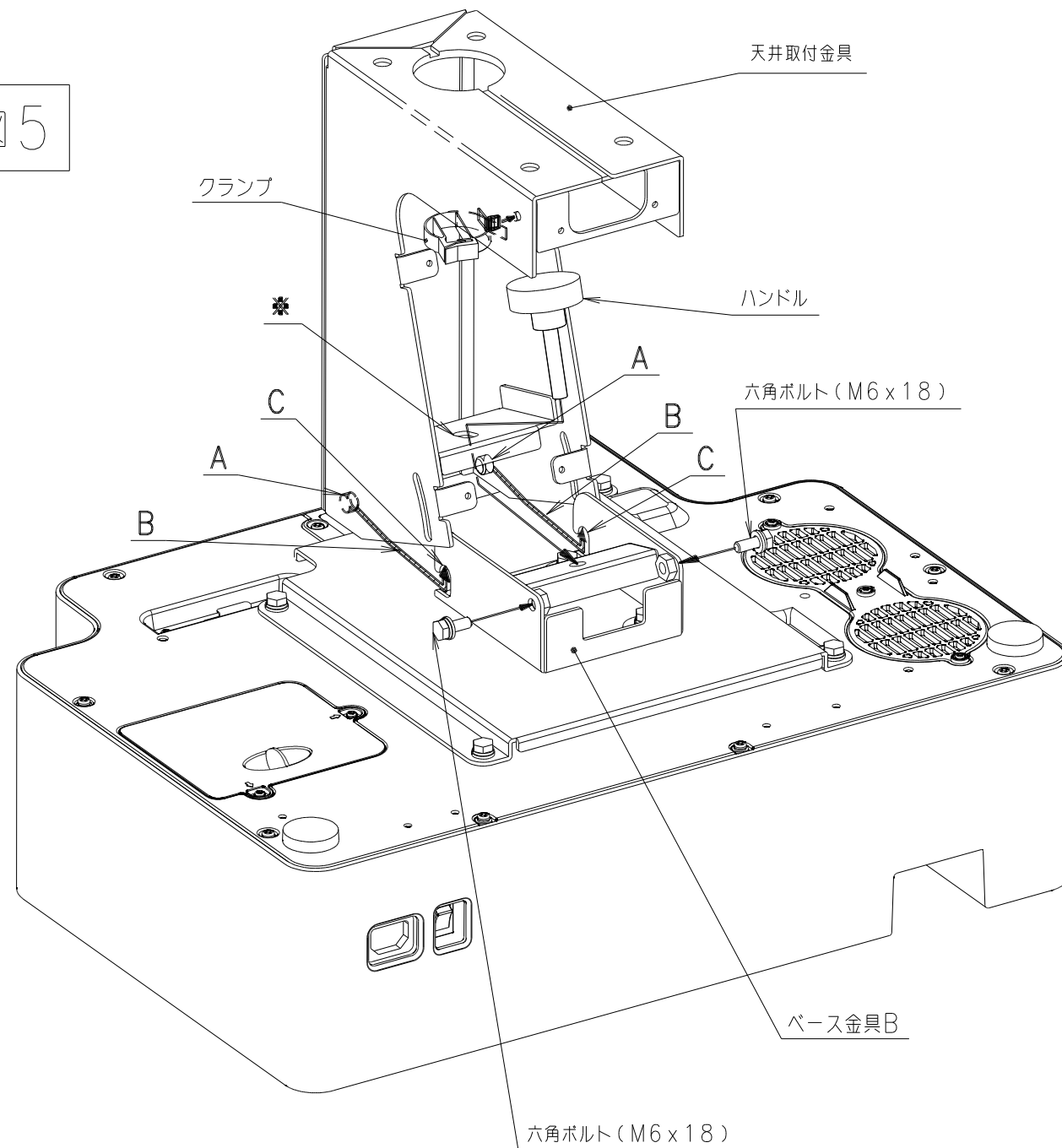


図4

4. 天井取付金具の内側突起部Aに、組み立て順の2~4で組み立てた本体を矢印Bにそってスライドさせて、ベース金具Bの溝部Cに、嵌めてください。(図5参照)
5. ベース金具Bと天井取付金具を六角ボルト(M6X18)2本で固定してください。(図5参照)
6. 天井取付金具の長穴(\*)に通してベース金具Bにハンドルを取り付けてください。(図5参照)
7. クランプを天井取付金具のサイドの穴に嵌め込んでください。(図5参照)

図5



スクリーンへの投影角度の調整

本天吊りユニットの調整角度は下側方向に20度まで可能です。

1. 図5の六角ボルト(M6X18)2本を緩め、図5のハンドルを回しての投影角度を調整してください。
2. 投影角度を調整した後、六角ボルト(M6X18)2本を締め付けてください。

ケーブル類の配線

|      |  |
|------|--|
| ⚠ 警告 | 電源コードは、資格のある専門業者に配線を依頼してください。            |
| ⚠ 注意 | 傷害の危険があるので、ケーブル類は人、物等が引っ掛からないよう配置してください。 |

6. フロントパネルの曲げ部 (※4箇所) を天井取付金具にあたらぬように広げながら矢印Aにそってスライドさせ、天井取付金具の穴B (3箇所) にフロントパネルの突起部C (3箇所) をいれこみます。入れ込んだところにM4ナット (3個) で固定してください。 (図6参照)

注意点: パネルを取付ける前に  
投射角度の調整をしてください。

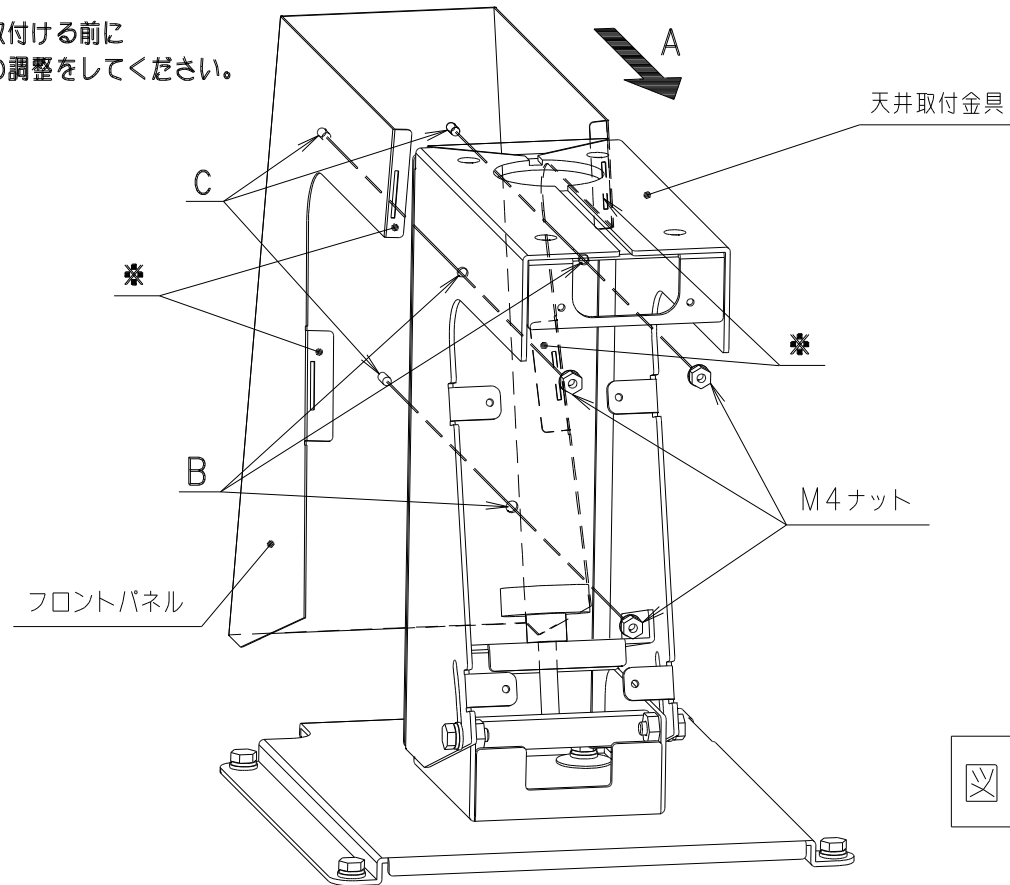


図6

7. リアパネルの曲げ部分Aをフロントパネルの角穴Bにはめ込み、ネジ (M4 x 8) 6本で取り付けてください。 (図7参照)

注意点: リアパネルを取付ける前に  
コード配線をしてください。  
(図8参照)

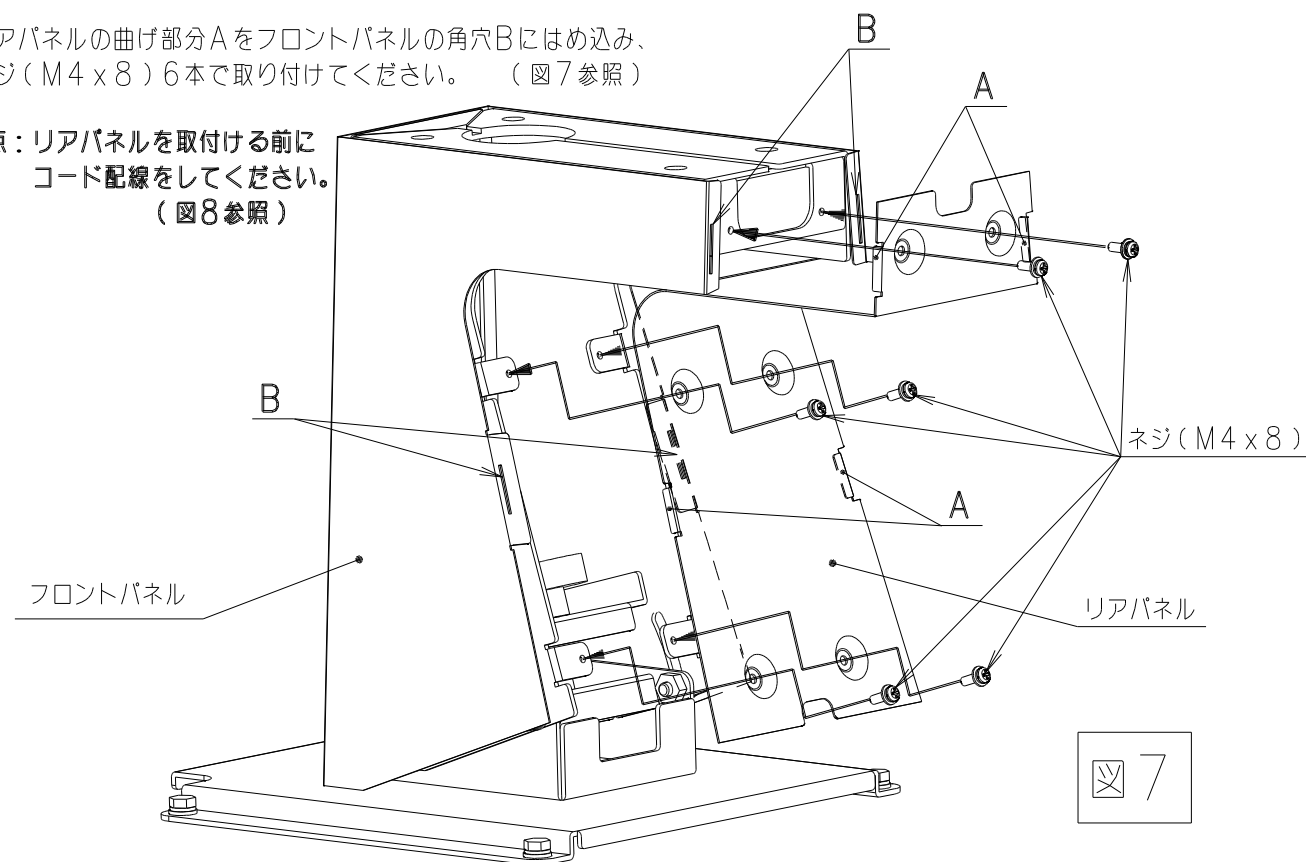


図7

コード配線方法

1. ケーブルは、ベース金具Bの切り欠き部分Aからクランプにとおし、天井上配線の場合は天吊金具上を通し、天井下配線の場合は天井取付金具切り欠きBを通して配線してください。 (図8参照)

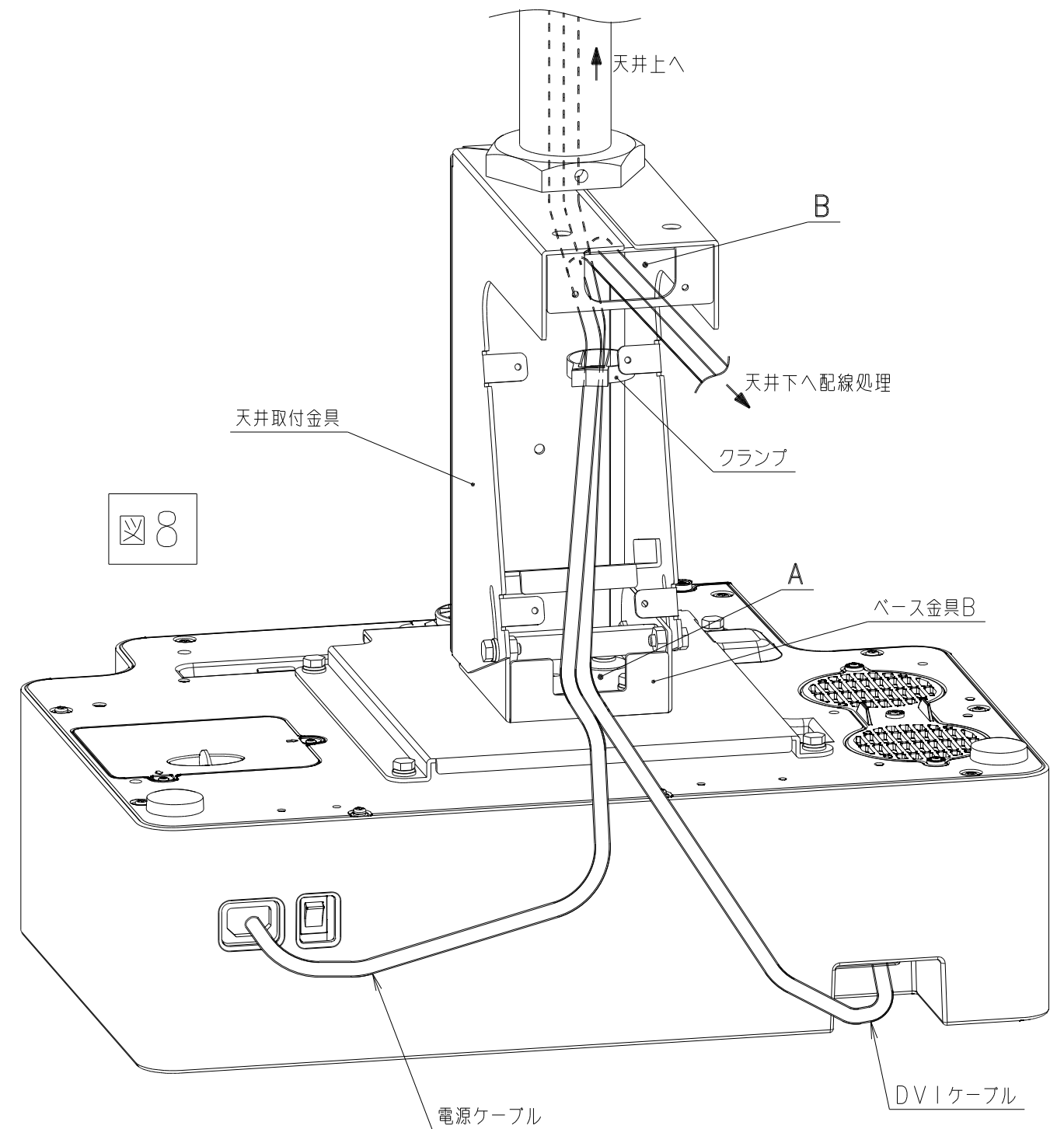


図8

設置完成 参考図

※ 設置例③のジョイント金具を使用すると寸法が変わってきます。

